

eco 情報

「樹脂サッシ」

アルミサッシと樹脂サッシの一番の違いは断熱性能にあります。熱を通しやすいアルミ材は冷蔵庫の製氷器には適していますが家の窓としては劣ります。アルミサッシは昔の木製の窓に比べ雨に強いので急速に普及しましたが、これからはワンランクアップした樹脂サッシの時代です。北欧や北海道など寒い地域では当たり前ですが、アルミよりも樹脂のほうが夏の外気の暑さを室内に伝えにくく、夏の暑さからも冬の結露からも解放されるのでおすすめです。リフォームとして後から取り付けることが難しいため、新築や増築の際にぜひ樹脂サッシをお選びください。結露防止は家の長持ちにも繋がります。



色は建物に合わせて5つのバリエーションから選べます。

ワン サイ 王家 カン 菜館

中田家の嫁、王さんが教える中国の家庭料理。ぜひ試してください。



file No.001 「西紅柿炒蛋（トマトの卵炒め）」

今日、少し熟し過ぎたトマトが安く手に入ったので、トマトと卵の炒めを紹介します。夏、食欲がない時でも、ご飯にかけておいしく召し上がれます。



材料 (3~4人分)

トマト 2ヶ
卵 3ヶ
鶏がらスープの素 小さじ半分
塩 少々

- 作り方
- ① トマトをさいの目切りにします。
 - ② 卵を溶き、鶏がらスープの素を混ぜます。
 - ③ 多めの油で卵をふんわりと焼きます 一度皿に取ります
 - ④ 同じフライパンでトマトを炒めます火が通ったら先の卵を入れ軽く和えます
 - ⑤ 塩、胡椒で味を調え完成です。

ソーラーサーキットの家



発行：有限会社 小山建設
羽生市中央2-6-3
☎048-561-6878
info@e-hous.co.jp
編集長：中田 新一

● web もご覧ください
<http://www.e-hous.co.jp/>



春夏秋冬

vol. 1
季刊発行

小山建設 体感ハウス
夏の体感フェア
8/22 土・23 日
午前11時～午後5時

<同時開催> 薬膳料理教室
午後2時～(両日とも)

講師：薬膳コーディネーター
王 萍

夏の体感フェアでは「住まいと健康」をテーマに夏の暑さに打ち勝つための薬膳料理教室を同時開催いたします。利根川河川敷に自生するクコの実に着目し、お粥など簡単に出来る薬膳料理をお教えします。ぜひご参加ください。



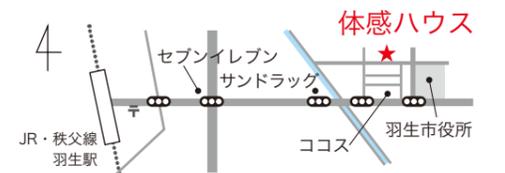
暑中お見舞い申し上げます

小山建設は夏涼しく冬温かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています！



小山建設の中田新一と申します。地元羽生市で父の代から60年、小山建設は夏涼しく冬暖かな外断熱二重通気工法のソーラーサーキットによる建築を中心とした地元密着型工務店です。今後この情報誌を通じてリフォームや住みよい家づくりのアドバイスなども発信していけたらと思います。

住まいは幸せの器です。幸せは家族が健康であって初めて得られるものです。ですから家づくりのテーマは何よりも健康的に快適に暮らせることが求められます。真夏の暑い時期こそ「体感ハウス」見学へお越し下さい。「体感ハウス」はソーラーサーキットの家です。涼しさ、部屋の温度差をはじめ、空気や音といった住む人の健康に影響をもたらす基本要素についてぜひ実際体感してください。



羽生市東6-5-13
☎048-563-1123

* 三代目通信 *

小さいころからよく建築現場へくっついて来ていた我が家の次女。今年の四月から建築科に進んで都内に下宿しています。住宅模型の宿題が出たので土日を利用して里帰り、この日は夜遅くまで奮闘していました。ガンバレ三代目！



リフォーム事例ご紹介

みなさんがちょっとした不便を感じられたとき、リフォームのヒントになればと思います。悩んでいることがありましたらご相談ください。

Reform #01 「四季の懐石 桜茶屋」

さいたま市の岩槻城址公園の近くに「四季の懐石 桜茶屋」という料亭があるのをご存知でしょうか。こちらの敷地の一角には30年前に父が建てた茶室があります。

この茶室、当時の会長さんは京都から職人を呼んで建てつもりでいたほどこだわりの茶室なのです。お話をいただいたとき父は茶室の経験がなかったので、さっそく大工、左官、建具屋を引き連れて京都の茶室見学へ…。京都に実在する茶室を再現し、無事会長にもご満足いただくことが出来ました。

そして月日が流れ、共に代替わり…。茶室はお座敷として使用されていました。

そのお座敷の茶室も最近では予約の電話で「座敷」だと告げるとそれだけで断られる日々が続き稼働率が落ちてしまっていたそうです。お客様の高齢化や和室離れによりテーブル席のニーズが増えたためです。

雰囲気の良い茶室でしたが、先日、女将の決断でテーブル席にすることになりました。その際、障子を雪見障子にして自慢の庭が見えるようにし、入口の横に茶室に合わせた和風のスロープを併設しました。なるべく雰囲気を損ねないよう、バリアフリーにしたのです。

リフォームの甲斐あって今では店内で一番人気のある席となりました。日本建築はどうしてもしつらみが多く型にはまりがちですが、いつの時代も使う人があっての建物だということをお勉強させていただきました。

お料理もおいしいので是非一度お食事にいらしてください。



写真左上：桜茶屋入口。立派な門です。

写真右：茶室入口に設けたスロープ。打ちっぱなしではなく、細かい石が敷き詰められたような素材にしました。
写真左下：離れの個室として生まれ変わりました。



四季の懐石 桜茶屋
さいたま市岩槻区城町2-6-54
御予約 048-758-2600 (火曜定休)
<http://www.sakura-iwatsuki.com>

地元・羽生市での取り組み

私が代表理事を務める「NPO 法人まちおこし・はにゅう市場」では、まちおこしをテーマに地元企業の情報発信、地元特産の藍染普及活動等を行っています。

今年は相生町と村君地区の交流事業に力を入れています。特に村君地区は古墳群や多くのお地蔵さん、また雑木林と自然に恵まれており、私もいまだに「こんなところにこんな景色が」と新たな発見のある興味深い地区です。

写真はそんな村君にある「延明寺」。かつて近郷48ヶ所の本山だったお寺です。境内には住職墓碑の「五輪塔」があります。ズラリと並ぶお地蔵さんは100年～200年前のものばかりです。

心を開いてお地蔵さんを見ていると悩みや問題を解決してくれそうな気がしてくるから不思議です。

この日はカメラマン役の嫁さんと半日、神社を回りました。

みなさんもぜひ散策してみてください。身近な場所でも意外と知らないことがたくさんありますよ。



匠の仲間たち

匠

わたしたちがいつもお世話になっている心強い匠たちをご紹介しますコーナーです。

▶ file no.001 (有) シガ工芸 目片 直彦さん



PROFILE

生まれ：昭和 39 年
出身：羽生市
資格：建築塗装一級技能士
広告美術一級技能士
屋外広告士

先代が滋賀県から羽生に来て塗装業を創業したので店の名前が「シガ工芸」。

弊社同様、いまでは二代目が頑張っています。

同じ塗料を使用しても塗り回数や塗膜が違えば耐久性が劣りますし、塗装と乾燥時間が短いと膨れや剥がれの恐れがあります。職人の経験と知識によって必ず差が出てしまうものです。

その点、目片さんにかかればさすがの仕上がりで、安心して仕事をお願い出来ます。

また外壁や屋根の塗装だけでなく大型インクジェットプリンターを駆使してデザイン看板にも力を入れています。

仕事以外にも消防団、商工会、建設業界役員など様々にご活躍です。

嫁さんは高校の同級生で、事務所がいつもお客さんで賑わっているのは明るい嫁さんのおかげですね。あなたも気楽にのぞいてみませんか。